





## 審査結果報告書

2020 年 1 月 29 日

主査 氏名 馬嶋 正隆 

副査 氏名 阿内 康雄 

副査 氏名 青山 直善 

副査 氏名 小泉 和彦 

1. 申請者氏名 : DM16006 井上 光子

2. 論文テーマ :

ナトリウム-グルコース共輸送体 2 阻害薬の非アルコール性脂肪性肝疾患合併 2 型糖尿病へ対する長期有効性の検討

3. 論文審査結果 :

ナトリウム-グルコース共輸送体 2(SGLT2)阻害薬は、近年、糖尿病患者における種々の大規模臨床研究において心血管イベントや全死亡率を顕著に低下させることが明になったが、肝機能の改善効果も明らかになり、その機序の一部として脂肪肝に対する改善効果が推察されている。

申請者は非アルコール性脂肪性肝疾患合併 2 型糖尿病患者に対して SGLT2 阻害薬の体組成及び肝脂肪量への効果について、高精度体組成計と肝臓 MRI 撮影による肝脂肪含有率を計 6,12,24 か月間評価し、その有効性のメカニズムを解析した。SGLT2 阻害薬投与により、血糖コントロールと血清肝酵素が改善し、体重、BMI、体脂肪も有意に減少したが、除脂肪体重と筋肉量は低下せず、さらに MRI により計測した肝脂肪含有率が有意に低下した。このことから、SGLT2 阻害薬によってもたらされる体重減少は体脂肪量、肝脂肪量の減少を反映していることが始めて明らかになった。

申請者は、主学術論文を中心に成績をプレゼンし、主査および副査からの質問に適切に答えることができた。主な質問は、SGLT2 阻害薬の効果に対する脂肪量の影響、肝脂肪と他の脂肪に対する作用の差異、SGLT2 阻害薬投与中に維持している他の治療法の影響、SGLT2 阻害薬の糖の出納に対する作用、近位尿細管上の糖再吸収に対する SGLT2 の関与の程度、研究デザインの妥当性などであった。

主査、副査の合議の結果、医学博士の学位にふさわしいと判定された。